

## 1. 議事

### (1) 来館者の状況

#### ①利用者数について（資料1）

新型コロナが5類になり、各地で賑わいを取り戻しており、まあちでも利用者が増えている。2022年度と2023年度の4月から9月までを比較すると、全体で20%ほど利用者数が増加しており、7月からは1日あたり100人以上増えている。利用者が増えたことに伴い課題も増えており、遠方からの車で送迎について、渋滞が起きている、見通しが悪くなるといったご意見を頂くことがあるため、今後注意していくと共に対策が必要となる。

#### ②子どもたちの様子

☞動画で館内の様子を報告。

### (2) 事業実施状況（資料2、資料3、資料4）

青少年委員さんの仕事を2か月に1度実施しており、前回初めて駄菓子屋さんを行った。普段よりたくさん子どもたちが参加して年齢の幅が増えたので、今後の工作参加へのきっかけとなると良い。

「まなぼーさい・あそぼーさい」は、例年町田消防署と共催で実施しており、幼児親子や小学生を中心としたイベントでしたが、AED体験の関心が高く、3年連続で参加している子や幼児親子での参加があった。

子どもの参画事業として、町田高校の1年生から自分たちの発表の場が欲しいという声を受けて高校生ライブが実現した。何度も話し合いを重ね、全て高校生が中心になりスタッフと協力して実施した。参加した高校生からもっと大きなライブをやりたいという声も上がり、今後の参画事業へつながるきっかけとなった。

「フェスタなかまち」や「まち2フェス in シバヒロ」に子ども委員会が出店した。今年には館外に出るイベントが増えており、子どもたちにとって良い経験の場となった。

町田若者大作戦について、実行委員会や実行サポーターが動き出している。まあち館内の取り組みとして、幅広く若者の声を聞くため、やりたいこと投函コーナーを設置し、そこにあがってきたものからアプローチして企画を詰めていく。

今年度から3ヵ年で子どものやりたいことを実現しようという「まちだ若者大作戦」がスタートした。5つの大作戦がエントリーをして審査会を経て進んでいる。その中で「いいことふくらむ高ボラ」はまあちと子ども発達センターを活動場所として、両課でタッグを組んで行っている事業となっている。夏休みを使って1か月ほど療育のクラスに高校生がボランティアとして入り、お子さんと遊んだり身の回りのサポートをしたり

した。オフサイトミーティングでは参加者が経験したことの振り返りを行い、来年夏の療育体験ボランティアに向けて進んでいる。職員一同、若者大作戦を通じて子どもたちのやりたいことの実現に結び付けられるように努力している。

(3) まあち8バースデーについて

まあちが4月30日に開館したため、近い日にちで4月27日、28日、29日の3連休のいずれかでまあち8バースデーを実施したいと考えている。2019年度は3連休の真ん中に実施し、来館者が少なかった。

今年度の予定：第3回運営委員会 2024年2月19日（月）18時30分～